

認知症に関する活動計画（概要）

静岡県作業療法士会では、学術部内に認知症班として位置付けて活動している。認知症班にはSIGとWGがあり、それぞれ目的を持って活動している。SIGではアップデート研修会やステップアップ研修会を開催している。また、今後静岡版のシラバスを作成し人材育成のシステム化を計画している。WGでは、当事者の方を交えた交流会や家族会のつどいへ参加をしている。今後は、家族会や初期集中支援チーム等で活動している会員や興味や関心のある会員との交流会を行い、会員の活動支援行っていきたいと考えている。

世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

昨年度は、静岡駅にて家族会や行政と共同しチラシ配りを実施した。今年度も実施予定。



認知症の人と家族の会との連携事業

2022年度より認知症と家族の会の賛助会員となっている。2023年度よりつどいの会へ参加させて頂き、今後の連携について検討をしていく予定。

研修会事業

年に1回アップデート研修とステップアップ研修会を実施している。ステップアップ研修会では、毎年テーマを決めて実施している。2022年度は京都橘大学の菅沼一平氏に「地域における認知症の人と家族支援について」をテーマに講義して頂いた。2023年度は結城病院の川口淳一氏にコミュニケーション技術をテーマに講義をして頂く予定。

WG研修会では、静岡県認知症希望大使の三浦繁雄氏、静岡県若年性認知症支援コーディネーター、行政の担当者に講師を依頼し、県内の認知症施策や認知症当事者の活躍の場についてのシンポジウムを開催した。

交流会イベント

今年度は新たな試みとして、家族会や初期支援チーム等で活動している会員やこれから活動してみたい会員と交流会を行い情報交換会を行う予定。会員が様々な活動に参加できるように支援をしていく体制作りを行っていく予定。

